

リコール検討会リコール等調査・分析WG開催要領（案）

1. 会議の名称

リコール検討会リコール等調査・分析WGとする。

2. WGの目的

課題3「リコールに至る自動車の不具合の発生原因の分析と削減方策」に関する検討

3. 主な検討事項

- (1) 近年のリコール増加の原因の分析
- (2) リコールに至るような不具合を削減するための方策の検討

4. WGのメンバー

WG代表

鎌田 実 東京大学大学院工学系研究科教授

WG委員

吉川 暢宏 東京大学生産技術研究所教授

廣瀬 久和 東京大学大学院法学政治学研究科教授

森 海人 (社)日本自動車工業会リコール制度検討会メンバー

加瀬 俊一 日本自動車輸入組合リコールWG座長

竹下 敏保 (社)日本自動車車体工業会中央技術委員会委員

新家 雅隆 (社)日本産業車両協会フォークリフト技術委員会

基準認証対応ワーキンググループ主査

高橋 武秀 (社)日本自動車部品工業会副会長・専務理事

小田 曜作 (独)交通安全環境研究所リコール検証部部长

5. 具体的作業内容（案）

(1) メーカーからの聞き取り調査

リコールの増加原因等

・設計・製作環境、品質管理体制等の変化

（ ・安全・環境を含む性能の要求水準

・電子部品の増加

・部品を含む海外生産の状況 等

(2) リコールの発生状況の傾向分析

リコールの発生傾向を多角的に分析

・対象台数別、メーカー別、不具合発生原因別等の届出件数からみた発生傾向

・平成15年度調査 との比較 等

平成15年調査：平成15年に国土交通省からの委託で実施されたりコール原因調査・分析検討委員会（委員長：畑村工学院大学教授）による調査

(3) 不具合情報の傾向分析

不具合の発生傾向を多角的に分析

- ・ 装置別の不具合発生傾向
- ・ 使用期間（走行距離）別の不具合発生傾向 等

(4) リコールに至るような不具合を削減するための方策の検討

(1) ~ (3) による分析結果を基に、リコールに至るような不具合を削減するための方策について検討する。

6 . 開催予定

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
WG開催予定	【第1回】 ・リコールの増加原因の推定等				【第2回】 ・リコールの増加原因の検討				【第3回】 ・リコールに至る不具合の削減方策の検討 ・WGの取りまとめの検討	
メーカーからの聞き取り調査	←→ アンケート調査		←→ ヒアリング調査			←--- (追加調査)				
リコール・不具合情報の分析	←→ リコール発生状況の傾向分析				←--- (追加分析)					
	←→ 不具合情報の傾向分析				←--- (追加分析)					
リコールに至るような不具合を削減方策の検討						←→ 不具合の削減方策の検討				

追加調査及び追加分析は必要に応じて実施